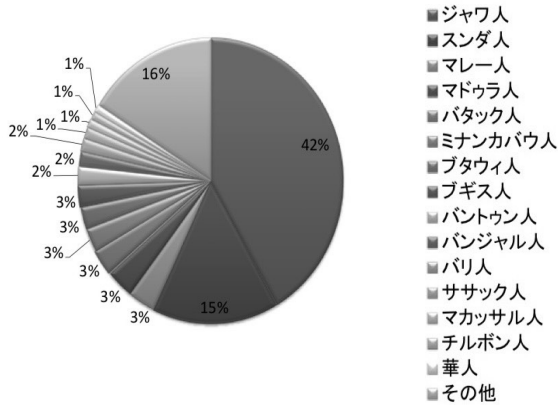


タイトル	インドネシアの出版物にみられる使用言語の変化 ——インドネシア華人の意識の変化を読み取る——		
所属	南山大学 外国語学部 アジア学科	氏名	山本紗瑛

## インドネシアの主要民族の割合



## 東南アジアにおける華人

### ・インドネシア (約2~3%)

- ・シンガポール (約80%)
- ・マレーシア (約30%)
- ・タイ (約10%)

→総人口が2億5千万を超えるため、比率は少ないものの世界最大級の規模

## 問題意識

- ・彼らのシンボルとしての言語とは？
- ・使用言語を決定する要因は？
- ・彼らのアイデンティティ形成に言語はどのように作用しているのか？

## 調査方法

- ・文献、先行研究を参考に分析する  
(インドネシア華人史、アイデンティティ形成に関連する事例を中心に)
- ・インドネシア出版の新聞や雑誌等の刊行物で使われる言語の比較

## 期待される結果

- ・華人や在日コリアンへの一部の根強い偏見
- ・一般的にハーフと呼ばれる国際結婚により生まれた子供の増加
- ・グローバル化により、大幅に増加した多文化に触れる機会

→異文化を理解し、受容する姿勢を学ぶべき

→古い価値観やステレオタイプを見直すきっかけになる

## 参考文献

- ・貞好康志. 「華人のインドネシア現代史ーはるかな国民統合への道ー」.2016
- ・青山享. 「多言語・多文化社会:多民族国家インドネシアと華人ディアスポラ (ver 3.1 2014-05-13)」